

Harmony

NO. 227

2022.1月号



関西ハーモニカ連盟会報

関西ハーモニカ連盟 組織 2021年11月15日現在

会長 仲村 真 〒558-0054 大阪市住吉区帝塚山東 1-7-15 フォルム帝塚山 309号
TEL 06-6674-0152 FAX も同じ

理事長兼事業部長 吹上晴彦 〒602-8488 京都市上京区真倉町 757-107
TEL 075-411-1531 FAX も同じ

事業部長補佐 (ハモ祭り実行委員会) 鐘ヶ江義行委員長、木ノ山洋子、松本千佳子、富久鉄男、中崎利枝子
(コンテスト実行委員会) 梁木進委員長(兼)
(活性化促進委員会) 梁木進委員長(兼)、小川未佐子、西本豪介(兼)、住田陽子(兼)

副理事長 梁木 進 〒599-8116 堺市東区野尻町 192-20
TEL 090-8655-6045 FAX 072-286-4890

副理事長兼事務局長 源馬英人 〒520-2101 大津市青山 8-6-14
TEL 077-549-3329 FAX も同じ

事務局長補佐 角野まゆみ

編集局長 もり・けん 〒594-0041 和泉市いぶき野 4-1-4-209
TEL 0725-57-7235

連盟会報編集室 (会報の原稿の送付先、会報誌に関する問い合わせ等)
harmonica@cardandmedia.co.jp
〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F 関西ハーモニカ連盟事務室
FAX 06-6353-1393

編集局長補佐 岩本洋之、竹内寿子

研修部長 小林由美子 〒662-0046 西宮市千歳町 7-42
TEL 0798-22-1844 FAX も同じ

研修部長補佐 住田陽子、西本豪介、新井尚子

組織部長 丸山茂生 〒666-0122 川西市東多田 3-4-1-703
TEL 072-793-7164 FAX も同じ

組織部長補佐 松本千佳子(兼)

会計部長 柴田正之 〒654-0013 神戸市須磨区大手町 5-3-1
TEL 078-734-5157 FAX も同じ

会計部長補佐 木ノ山洋子(兼)

19人

理事 青木鈴子、稻垣裕子、井上孝子、内田常雄、小河由美、尾崎雄三、
小野浩子(事業部補佐)、金丸寿夫、加納克芳、喜多創平、木原淳、黒谷マス子、
源馬恵子、小林希久子、小林美津子、雜賀健(事業部補佐)、佐藤長、園真佳、
高阪他美子、高山美千代、田口史郎、田口幸輝、谷口昌子、筒井茂義(編集局補佐)、
中谷晃、永野富康(研修部補佐)、新山ミツ子、西尾好美(編集局補佐)、新田真理、
服部恵美子、羽原伸示、林和子、福島隆志、藤野つるみ、保理江元子、松岡郁子、
松本孝司、松本忠義、道下雅之、渡辺晃志(編集局 HP 担当)、和谷篤樹

41人

会計監査 後藤貞男

5人

常任顧問 (五十音順) 梅田恒弘、寺村安雄、村上浩一、村上博昭、吉村則次

顧問 (該当者なし)

5人

特別顧問 (五十音順) 斎藤寿孝、十河陽一、徳永延生、水野隆元、和谷泰扶

関西ハーモニカ連盟 ホームページ <http://ks-hamoni.sakura.ne.jp/>

入会のご案内

組織部長

入会金：1000円(団体は1団体1律1000円)

年会費(1月から12月)：

個人会員 5000円、地域外個人会員 5000円、準会員(30歳未満の方) 1000円

団体会員(5名以上の団体で1名につき) 1000円、贊助会員 10000円

郵便振替口座：00950-6-115527、加入者名：関西ハーモニカ連盟、通信欄に「入会申し込み」と記入してください。

◎入会申込書は必ず組織部へお送り下さい。

ハーモニカが好きな方なら、
吹く方、吹かない方、上手な
方、下手な方、上手になりた
い方、ニュースだけほしい方
等、どなたでも入会できます。



CONTENTS

目 次

関西ハーモニカ連盟会報 Harmony 第227号

(2022年1月号)

発行部数 450 毎年1、4、7、10月に発行 (送付はそれぞれ前月中下旬)

ご挨拶「関西ハーモニカ連盟の今後」	理事長	吹上晴彦	2
関西ハーモニカ連盟 2022年度『定時総会』のご案内	事務局長	源馬英人	3
組織部・会計部からのお願い	組織部長 会計部長	丸山茂生 柴田正之	4
関西ハーモニカ連盟への入会ご案内	会計部長 組織部長	柴田正之 丸山茂生	5
《個人会員》《準会員》《賛助会員》入会申込書	組織部		6
《団体・団体会員》申込書（新規・継続）	組織部		7
事務局だより 常任理事会実施報告	事務局	角野まゆみ	8
「第31回関西ハーモニカ祭り」を終えて	事業部	鐘ヶ江義行	9
第13回西日本ハーモニカコンテスト（2021/8/1） 優勝者のことば	事業部		12
連盟部局員からのお便り第12回 このごろ「ぶつくさ」思うこと	事業部	小川未佐子	14
関西ハーモニカ交流会（仮称）のお知らせ	事業部	小川未佐子	15
2021年度第1回研修会報告 講師：吹上晴彦先生 佐藤秀廊作品より タンゴ「花嫁人形」		角野まゆみ	16
2022年度研修会のご案内	研修部長	小林由美子	18
ハーモニカカレンダー	編集局		20
吹上晴彦理事長 古希記念リサイタル		富久鉄男	21
国民文化祭・みやざき 【ハーモニカフェスティバル2020】		作田嘉余子	22
第1回全日本ハーモニカ演懐コンクール2022 本選ライブ		梁木 進	23
会員紹介コーナー「無題」		佐藤 長	24
ハーモニカをポケットに⑦佐多岬～熊本550kmの旅		木原 淳	26
ハーモニカ吹きまくり（ハーモニカ小劇場）に参加して		井上孝子	28
コロナ禍のハーモニカコンサート		青木鈴子	29
関西ハーモニカ連盟九州旅行の思い出 ～「うなぎ」とハーモニカ～		吉村則次	30
行って、見て、聞いて Vol.18 名曲喫茶		岩本洋之	31
カラオケの聴き方		北村サユリ	32
「自在流ハーモニカ」ハーモニカを気楽に楽しみたい		もり・けん	33
ほんわか かなさんメジャーデビューCD『人と旅と笑顔、想い出アルバム』が11月17日に発売開始	編集局		34
会員異動のお知らせ	組織部長	丸山茂生	35
編集後記			36

ご挨拶 「関西ハーモニカ連盟の今後」

2022年（令和4年）1月

理事長 吹上 晴彦

本連盟の会報「Harmony」は、編集局みなさまのご尽力により休刊することなく発行してまいりましたが、コロナ禍で各行事の遠ざかりにより、一部休刊やNO.225から簡易版となりました。

今年度こそは、常時をとりもどしたいとの思いも込め、NO.227を通常装丁による新年号といたします。

さて、役員改選期の今期、引き続き理事長を拝命することになりました。より若い人材を理事・常任理事に得て、運営に当たります。前期の2年間は、どの業界もそうであったように本連盟も同様、コロナ感染症対応に神経を尖らせ、注意するものでした。

「忙中閑あり（どんなに忙しい中でも閑はつくれ、またそういう余裕を持たなければならない。）」という言葉は、どなたも聞かれた言葉であると思います。

政財界の師と仰がれ、元号「平成」を提案した故人の言葉に「忙中有閑」から師の自作と思われる「六中觀」がある。それは「忙中有閑・苦中有樂・死中有活・壺中有天・意中有人・腹中有書」の六中です。

それらの「六中觀」もって、いかなる場合も絶望したり、仕事に負けたり、届託したり、精神的空虚に陥らないように心がけることです。まさしく、今の状況への対応方法に当てはまります。

また、会員数が減少して、若い後継者が育たない本連盟現状の打開方は、ある故・企業家が言った言葉の中に見いだします「現実を否定してもいけない。是認してもいけない。容認しなければならない」現実を否定しても是認しても、現実は変わらない。「容認」現実をありのままに抱きかかえて、そこから一步を踏み出すことが大事なことです。

常任理事会において、承認いただきました理事長直轄の役職、会報NO.222(2020.1月号)でご案内の「理事長付特別補佐」を継続して募集しております。

コロナ感染症の報道やそれらの政策に翻弄されることなく、ゆっくりでいいので、できることから行い連盟の運営にご協力賜りますことをお願い申し上げます。

関西ハーモニカ連盟会員各位

関西ハーモニカ連盟 2022年度『定時総会』のご案内

関西ハーモニカ連盟 理事長 吹上晴彦
担当 事務局長 源馬英人

2022年度の定時総会を下記のとおり開催致しますので、万障お繰り合わせの上、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

日 時：定時総会 2022年2月11日
(金曜日・建国記念の日) 午後3時より
場 所：北京料理 徐園（大阪市西区江戸堀
1-15-30、電話：06-6448-5263）

議 題：1. 2021年度事業報告
2. 2021年度収支決算報告
3. 2022年度改選人事
4. 2022年度事業計画
5. 2022年度予算

◎総会欠席の場合は、一切の議決権を理事長に委任されたものと致します。
◎団体会員は原則として、議決権を有する代表者のご出席をお願い致します。
◎総会終了後、懇親会を同所で開催致しますので、ぜひご参加ください。
(会費5,000円、午後5時開始予定です。)
◎年会費及び懇親会費は、同封の振込み用紙に

てお支払いください。

◎出欠のご返事は、同封のハガキにて12月31日までにお知らせください。（締切厳守）

※コロナウイルス感染の状況により、総会を中止する可能性があります。その場合は出席のご返事をされた会員にお知らせします。

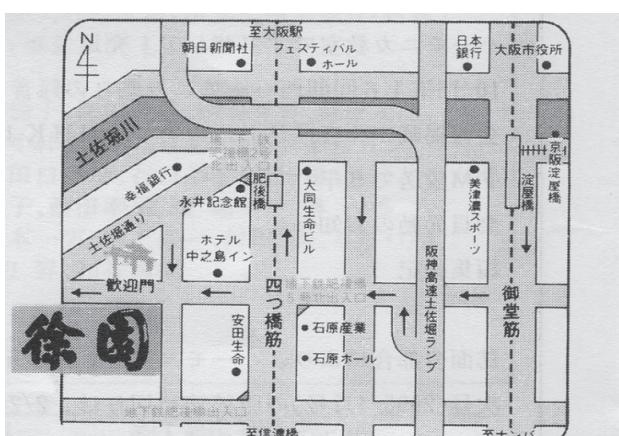
<お願い>

◎年会費は、必ず同封の振込み用紙にて1月31日までにお支払いください。（締切厳守）
なお、総会会場での現金によるお支払いは受け付けていません。

◎毎年、「振込み忘れ」の問題が発生しています。
ご協力をお願い致します。

◎やむを得ぬ事情により退会される方は、同封のハガキにてその旨ご連絡ください。

※新入会員を含め、すでに2022年度会費を納入済みの方、及び特別顧問の先生方は、同封の振込み用紙についてご放念ください。



- 地下鉄四つ橋線 肥後橋駅
2番出口より徒歩1分
- 京阪電車中之島線 渡辺橋
7番出口より徒歩5分

組織部・会計部からのお願い

新年度を迎えるにあたり、次の4点についてご協力をお願いいたします。

1 — ① 「個人会員・準会員・賛助会員 登録（継続）」

- 継続者は、この会報に同封の葉書の継続に○をつけてご返送ください。
- 新年度会費（個人：5,000円、準会員：1,000円、賛助会員：1団体当たり10,000円）を1月末日までに会計部へお振り込みください。会費納入期限が1月末ですので、ご理解とご協力をお願いします。
万一、2月末日までに未納の時は、連盟規約第5条-6（会員資格の喪失）③により不本意ながら退会扱いになりますのでご注意ください。

1 — ② 「個人会員・準会員・賛助会員 登録（新規入会）」

- 6ページに記載の「個人会員」「準会員」「賛助会員」入会申込書に必要事項をご記入の上、必ず組織部へ郵送もしくはFaxをお願いします。
- 入会金（1,000円）と年会費（個人：5,000円、準会員：1,000円、賛助会員：1団体当たり10,000円）は会計部へお振り込みください。

2 — ① 「団体・団体会員 登録（継続）」

- 「団体会員」は、前年度からの継続者をも含めて、年度毎に登録しなければなりません。
7ページに記載の「団体・団体会員」申込者（新規・継続）」に団体会員氏名ほか必要事項をご記入の上、1月31日までに必ず組織部へ郵送もしくはFaxをお願いします。
- 年会費（団体会員1人につき1,000円）は、1月末日までに会計部へお振り込みください。
会費納入期限は1月末ですでのご理解とご協力をお願いします。
万一、2月末日までに未納の時は、連盟規約第5条-6（会員資格の喪失）③により不本意ながら団体が退会扱いになりますのでご注意ください。

2 — ② 「団体・団体会員 登録（新規入会）」

- 7ページに掲載の「団体・団体会員」申込書（新規・継続）」に会員氏名ほか必要事項をご記入の上必ず組織部へ郵送もしくはFaxをお願いします。
- 入会金（団体新規登録時のみ1,000円）と年会費（団体会員1人につき1,000円）は、会計部へお振り込みください。

(組織部) 「個人会員」「準会員」「賛助会員」「団体・団体会員」申込書の送り先

（〒666-0122）川西市東多田3-4-1-703 丸山茂生 Tel/Fax 072-793-7164

(会計部) 「入会金」「年会費」の振込先

振替口座 番号00950-6-115527 名義 関西ハーモニカ連盟

組織部長 丸山茂生
会計部長 柴田正之

関西ハーモニカ連盟への入会 ご案内

《ハーモニカにご関心のある方ならだれでも・いつでも入会できます》

関西ハーモニカ連盟の主な活動

- ・ハーモニカコンサート（ハモ祭り）
- ・ハーモニカコンテストの開催
- ・ハーモニカ情報を満載した会報「Harmony」を年4回（1.4.7.10月）発行
- ・懇親会、研修会、研究会、合宿、各種交流会等の開催
- ・詳細は会報「Harmony」やホームページをご覧ください。

《入会金と年会費》

入会金 (個人・準会員) 1,000円

〃 (団体) 1団体一律に初回のみ 1,000円

年会費 (個人会員) 5,000円

〃 (準会員) 1,000円 若手育成のため30歳未満の方に正会員並みの待遇をします。

〃 (団体会員) 1名当たり 1,000円

〃 (賛助会員) 1団体当たり 10,000円

《入会方法》

- ・6ページ、7ページに掲載の入会申込書に所定事項を記入し、入会金および会費の振込証（コピー）を添付して組織部へお申込みください。
- ・団体は5人以上でご加入ください。（個人会員・準会員の重複加入も認める。）
- ・会員名簿には、団体については「団体名」「代表者名」「住所」「電話番号」「会員の氏名」「人数」を公開します。

《入会申込書送付先》(FAX,E-mailでも可)

(〒666-0122) 川西市東多田3-4-1-703 丸山茂生

Tel/Fax 072-793-7164

E-mail: maruy_ma@ksh.biglobe.ne.jp

《入会金・年会費送金先》

下記の口座へ郵便振込みで送金をお願いします。

振替口座 番号 00950-6-115527 名義 関西ハーモニカ連盟

会計部長 柴田正之 Tel/Fax 078-734-5157

組織部長 丸山茂生 Tel/Fax 072-793-7164

組織部

関西ハーモニカ連盟

会長 仲村 真殿
理事長 吹上 晴彦殿

《個人会員》《準会員》《賛助会員》 入会申込書

(上記、申込したい会員を○で囲む)

年 月 日

(ふりがな)			(性別)	男	女
氏名			準会員の方は年齢 歳		
住所 (ふりがな)	〒 - - -				
	府・県		郡・市	町・村	
電話・FAX	- - -	FAX	- - -		
携帯	- - -				
e-mail					
ホームページ					
《非公開事項》	番地・電話番号の公開を	①認める	②認めない		
ご入会の動機					
ご紹介者					
生年月日	T. S. H	年 月 日生	(ハーモニカ経験年数)	年	
加入教室・演奏団体					
主にご使用のハーモニカ	複音 クロマチック	10ホールズ	合奏ハーモニカ	()	
加入他団体名(○をつけてください)	全日本ハーモニカ連盟、日本ハーモニカ芸術協会、F.I.H、N.H.C、 ハーモニカ振興会、その他()				
			(連盟への期待・要望など)		
(入会金・年会費 振込証のコピー)					
貼付					

関西ハーモニカ連盟 会長 仲村 真殿
理事長 吹上 晴彦殿

《団体・団体会員》 申込書（新規・継続） 年 月 日
(新規か継続かを○で囲む)

団体名	(ふりがな)		
代表者名	(ふりがな)	性別	代表者は 個人会員 団体会員 準会員
住所	〒 — 府県		
電話・FAX	— —	FAX	
携帯・Email	— —	E-mail	

振込金額	入会金(初回のみ) 1,000円	年会費 1,000円/人	合計	円
団体人数	人			
(ふりがな) 会員氏名				
(欄が 足りなければ 別紙へ)	(入会金・年会費 振込票のコピー)			
	貼付			

常任理事会 実施報告

角野まゆみ

2021年第5回常任理事会報告

1 日時 2021年9月27日(月)17時より

2 場所 ふんふんさろん

3 議題 第31回関西ハーモニカ祭りについて

決定事項

- ・連盟が購入した検温消毒機は会員の行事に貸出すことが可能。

2021年第6回常任理事会報告

1 日時 2021年10月25日(月)18時より

2 場所 ふんふんさろん

3 報告 理事長および各部局

4 議題 (1)2022年度常任理事会の開催予定について
(2)第31回関西ハーモニカ祭りの総括について
(3)2022年度役員人事等について
(4)その他

決定事項

- ・バーチャルハモ祭り出張旅費は実費支出する。
- ・西日本ハーモニカコンテストは今年を軸にして2年毎にする。次回は2023年。
- ・来年度の会費は通常通りにする。

2021年第7回常任理事会報告

1 日時 2021年11月29日(月)17時より

2 場所 ふんふんさろん

3 報告 理事長および各部局

4 議題 (1)2022年度総会について
(2)2022年度本連盟組織について
(3)2022年度事業計画について
(4)本連盟ホームページについて
(5)その他

決定事項

- ・活性化委員会行事は6月19日(日)ココプラザにて行う。
- ・新HP作成に関するサーバ費用(300GB、¥980/月)を承認する。
- ・HP運用法は理事長及び編集局長の承認を得る事とし、理事長が必要に応じて関連部局長に確認する。

「第31回関西ハーモニカ祭り」を終えて

事業部 ハモ祭り実行委員会 鐘ヶ江義行

第31回関西ハーモニカ祭りは、2021年10月17日に神戸ファッション美術館オルビスホールにて開催いたしました。今回は、コロナの非常事態宣言のため、3密を避けて、出演者をトリオまでに制限して17日の1日だけといたしました。出演38組、出演者45名（スタッフの出演を含む）、運営専任スタッフ10名、観客数

130名、入場者総数は185名でした。演奏会はプログラム通りに恙無く終了いたしました。

プログラム中程に吹上理事長より、連盟行事及び関西ハーモニカ祭りについてのメッセージがありました。その全文を本面に掲載いたします。

ご挨拶文

理事長・事業部長 吹上晴彦

みなさん、こんにちは。早朝よりお出ましくださりありがとうございます。スタッフの皆様、朝早くからの準備ご苦労様です。関西ハーモニカ祭りは、今回で31回を迎えます。

昨年は、コロナ感染症拡大のため2月11日の総会以降、すべての行事を取り止め延期いたしました。今年度は、コロナ禍のリスクのある時だからこそ、いかに感染症を防いで進めるかを課題としてやって参りました。西日本ハーモニカコンテストでは、明日より緊急事態宣言発令という中、万全の対策を講じて開催いたしました。まだまだ、油断はできませんが、できることから一つ一つ、やって行こうと思います。

今回の会場は、舞台裏が狭く、待合スペースでの密を避けるため、やむを得ず出演者数を制限してトリオまでとしました。その結果応募者が減り、例年土日の2日間にわたり行っていたのですが、今年は日曜日のみとしました。カルテット以上のグループの方は、バーチャルハモ祭りアンサンブルと銘打って募集しております。どうか、ご理解のほど、ご参加よろしくお願ひいたします。

私事で恐縮ですが、先日、研修部長小林先生の企画で私の「古稀リサイタル」を開催していました。このような時だからこそステージに立つこと、演奏できる感動は、何物にも代えがたいものでした。また、会場にお越しいただいた方からの暖かいお言葉が、今後の大きな力となります。

よくアンサンブルなどで息を合わすと言いますが、すべての事柄は呼吸を合わせることでなんとかなると思っています。ハーモニカという楽器に呼吸を合わせ、ナマ音の深さ、醍醐味を感じ、第31回関西ハーモニカ祭りのステージを楽しんでください。このことをお願いして、ご挨拶といたします。本日は、ありがとうございました。



挨拶 吹上晴彦理事長



会場がある神戸ファッショング美術館



館内の会場のオルビスホールは一普段ファッションショーなどに使われるところで広々とした素敵なホール

関西ハーモニカ祭りは、演奏プログラムに従って定刻に開始しました。出演者の方々は、日頃の練習成果を、遺憾なく発揮されたことと思います。プログラム5番目の中谷信子さん演奏曲「ハーモニカの音 生きている」は中谷さんの作詞で村上浩一さんが作曲されました。中谷さんのハーモニカ伴奏に合わせて、村上さんが歌われるサプライズとなりました。

本年8月1日に開催した第13回西日本ハーモニカコンテストの優勝者演奏コーナーでは、グランプリ受賞者の熊谷みらさんが、優勝した時の曲「everything」を演奏されました。観客の皆様は、熊谷みらさんの演奏を十分に堪能されたことと思います。

演奏会は予定通り15時30分頃に終了いたしました。最後まで演奏を聞いて下さった観客の皆様へ、厚くお礼申し上げます。

関西ハーモニカ祭りは、会場ホール新型コロナウィルス感染防止ガイドラインに準拠した対策を行いました。マスクの着用、3密を避ける、健康チェックリスト作成（入場者各人の検温値、氏名、連絡先等の記入）を、入場者の皆様へお願いいたしました。皆様のご協力にお礼申し上げます。健康チェックリストで健常者と確認できた方々は、マスクに健康シールを張付けていただき、以後の入場手続きを不要とするバスマーケにしました。健康シールはハロウィンをデザインした封筒止め用飾りシールです。入場者の内には、健康シールを複数個張付けた子供達がいました。会場は空調機を稼働させて常時換気を行っていました。特に今回は、ホールの長時間密閉を避けるため、1時間毎に演奏休憩を設け、ホール扉を開けてホール内の空気を入れ替えました。



本年8月1日に開催の第13回西日本ハーモニカコンテストの優勝者演奏コーナーで熱演される熊谷みらさん



中谷信子さんのハーモニカ伴奏に合わせて、熱唱される
村上浩一さん



トップバッターの柴田正之さん



昨年7月にご逝去された大石昌美先生ご愛用の服を着て熱演される寺村安雄さん



熱演される福田勝さん

本祭りにご後援頂いた全日本ハーモニカ連盟、日本ハーモニカ芸術協会、ハーモニカ振興会、ご協賛頂いた(株)トンボ楽器製作所、鈴木楽器販売(株)大阪支店の皆様に感謝申し上げます。

スタッフの方々は朝9時に現地に集合して、案内用の張り紙、舞台設営、音響機器の確認受付等の準備をしていただきました。演奏が終了したら後片付けです。会場に忘れ物はなく、落し物は見つかり、無事に持主へ戻りました。大変お疲れ様でした。有難うございました。

今回の関西ハーモニカ祭りはコロナ対策のため、団体会員のアンサンブル演奏の機会を、設けることができませんでした。その改善策として、カルテット以上のグループの方々には、バーチャルハモ祭りアンサンブルと呼称し、仮想的なハーモニカ演奏会を企画いたしました。その内容は、連盟のホームページに団体会員グループの演奏曲と静止画像、または動画を組込んで、仮想演奏ステージにするものです。9組のグループから出演の申込みがありました。申込みグループから提供された素材（画像と演奏

音声）の編集に取り組んでいます。編集を完了した映像では、演奏者の写真を見ながら演奏を聴く、演奏の動画を見ることができます。2022年3月～2022年10月まで一般公開する予定です。公開時は連盟ホームページの検索法を会報等に掲載いたしますのでご参照ください。一般公開をご期待ください。

第32回関西ハーモニカ祭りは、2022年10月15.16日、堺市民芸術文化ホール（フェニーチェ堺の小ホール）で開催します。会員皆様の参加を期待します。



トリはクライニアーツによる「小林旭メドレー」

第13回西日本ハーモニカコンテスト(2021/8/1)優勝者のことば

山崎妙子（福岡県）

クロマチック・ソロ（クラシック）部門1位

私は徳永延生先生に師事し、発表会やコン

テストで先生や門下生の方々に直接お会いできるのを楽しみに、オンラインレッスンを受けています。コロナ禍でイベントが長い間開催されず、また開催されるようになっても家族の理解を得るのが難しく、ハーモニカの練習を長い間サボってしまいました。あまりの練習不足に決勝ライブを欠席する事も考えたほどです。

我が家では中3の息子が吹奏楽コンクールに向けて頑張っていましたが、吹奏楽コンクールと西日本ハーモニカコンテストの開催日が重なってしまいました。息子の最後の大会になるかもしれないのに、応援に行かずコンテストに出る私が中途半端な演奏をする訳にはいかないと、なんとかモチベーションを上げていきました。

決勝ライブは久しぶりのステージでの緊張感で心地良いものでした。また出場された方や先生方の演奏から刺激を受けモチベーションも上がり、とても充実した一日でした。西日本コンテストに携ってくださった全ての方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

熊谷みら（兵庫県）

クロマチック・ソロ（ジャズ・ポピュラー）部門1位

高校2年生の熊谷みらです。私がクロマチックハーモニカに出会ったのは、小学校6年生の時で、南里沙さんが関西フィルハーモニーをバックに、モーツアルトの『魔笛』のアリアを吹かれるのを聴いた時です。小さな楽器なのに、オーケストラをバックにしても負けないダイナミックな表現ができるこの楽器の魅力にハマってしまいました。一音を表現する為に様々な技術がある事を学び、リズムトレーニングにも挑戦しています。ピアノの発表会しか出したことのなかった私が、プロのバンド付きの発表会や、コンクールの舞台に立たせていただくようになりました。今回の西日本でグランプリをいただいたMISIAの『Everything』は、いつも徳永延生先生がおっしゃっている「歌うこと」を大切にして演奏できる曲です。とても緊張するコンクールの場でしたが、歌うことに集中して吹くことができました。

今年は学校の文化祭でも全校生にハーモニカを聴いていただく機会がありました。こんなに素敵なハーモニカを、どうして同世代の人達が手に取らないのだろうと不思議に思い始めています。仲間を増やしていきたいと思います。私自身はもっともっとハーモニカの音に磨きをかける努力を続け、歌うように演奏できる奏者になりたいです。何度も緊急事態宣言が出る大変な中で、西日本コンテストを無事に開催してくださり本当にありがとうございました。（2021年11月12日）

大仁田敬汰（愛媛県）

複音・ソロ部門 1位

私がハーモニカと出会ったのは3歳です。祖母がハーモニカ教室にかよっていましたので祖母の練習やコンサートに行き、ハーモニカの音と触れ合っていました。

宇佐美進先生に師事をし、ハーモニカを始めました。6歳の時、同じ宇佐美進先生に師事していた当時中学生のお兄さんの「ロングロングアゴー変奏曲」を聴く機会があり、初めて聞くテンポの速さと複雑な音にすごく驚いた事を覚えています。その時からこの曲が憧れの曲となりました。

たくさんの技法が詰まったこの曲は直ぐに練習がゆるされるものではなく、中学2年生になってやっと、この憧れの曲の練習を始める事ができました。オクターブ奏法や飛躍奏法、分散和音奏法など経験したことのない難しい奏法に、正直何度も諦めそうになりました。唇を何度も切りながらも努力を続けることで、この曲で中学3年生の時には準師範の資格を取得することが出来ました。

思い入れの詰まったこの曲で、今回、西日本ハーモニカコンテストに挑戦させて頂きました。当日は本当に経験したことのない緊張感に包まれ押しつぶされそうになっていたところ沢山の方から励ましの声をいただき、緊張もほぐれ、いい演奏ができました。結果、優勝に選ばれ、表彰式では関西ハーモニカ連盟吹上晴彦理事長様から「これからも、ハーモニカを続けてください」という言葉をいただきました。

演奏の技術も経験も未熟ですが、これからもさまざまな曲に挑戦し、研鑽を重ね、将来ハーモニカの世界で後世に伝えられる指導者を目指したいと思います。（2021年11月12日）

ハーモニカ・ソサエティ with YOU

代表 源馬英人（滋賀県）

大アンサンブル部門 1位

金賞第1位という栄えある賞を頂き、ありがとうございます。前々回に第3位、前回に銀賞第2位を頂きましたが、今回は最高の賞を頂くことができ、メンバー全員、幸せな充実感を味わっています。演奏曲に選んだのは「ラ・クンパルシータ」という難曲でしたが、練習を重ねながら、「ここは弾むように軽快に演奏しよう」とか、「ここはゆっくりと行こう」とか、曲想づくりの工夫をしました。特に、各パートを縦断する「縦の線」を明確に保つよう留意し、リズムやテンポに変化のある箇所では互いに眼で確かめ合いながら、気持ちを合わせるようにしました。こうした努力と、コンテストを楽しむ気持ちでステージに立ったことが、好結果につながったのではないかと思います。ソロとはまた一味違う、アンサンブル独特の喜びをしみじみと実感した一日でした。

また、今回の優勝が評価され、11月21日に大津市のびわ湖ホールで開催される「アンサンブルの楽しみ」に出演し、同じ曲を演奏することになり喜んでいます。（2021年10月1日）

このごろ「ぶつくさ」思うこと

事業部 小川 未佐子

★どうしていますか？パート分け

子どもの合奏を指導するとき、厄介だったのがパート分けでした。「打楽器は簡単」「音符の少なそうなのはやさしい」と考えるのですが、パート分けについては、おとなも同じようです。しかし、そうではありません。ハーモニカの合奏を聞いて”なんじゃこれは！”と思ったのは、ベース・コードの役割がわからっていない演奏を耳にしたからでした。

メロディとハーモニー、そしてリズム。こんなことを私が語る場ではありません。もっともっとアンサンブル（合奏）に親しんでほしいと考えています。合奏をする時、個性的な演奏をする人がいては困ります。けれど仲間として迎え入れたときから、どんな演奏（音楽）にしたいか話し合い、認め合い、親しむ中で、合わせることはできるはずです。練習をいくつか試して工夫してみましょう。指揮者は必要ですか？指揮者がいなければどのように音楽をはじめますか？各パート一人ずつで合わせてみましょう。いくつかのグループ発表ができます。何度か聞いたり演奏したりすると、耳が慣れるし演奏のミスも少なくなります。お互いの間違いや良い点を認め合うことができ、笑いも生まれます。そうすれば、技能のレベルアップと共に心のつながり（信頼）も深まると思うのです。

♪ ただ今二教室 9名

ハ一さん 岡山県からのUターン転居者
岡山で続けていたハーモニカを神戸で続けるため教室を探して入会。
モさん クリニクラウンの先輩がテンホールズを吹く。基礎から勉強したいと入会。
ニさん 楽器店最高齢のおばあちゃん。少し



お仕事もしているし、新聞への投稿が趣味（*）。他にも絵手紙を書いたりする趣味人。

力さん 親の介護が一段落し、久しぶりに以前通っていた教室を訪ねてハーモニカを再開した女性。

だ一さん 病気の奥さまから「あなたには、ハーモニカがあるから」と言って外出を許されている男性。

い一さん シルバーカレッジでハーモニカを始めた。ベースが吹きたくて入会。タンブロックが出来てきたかな～。

す一さん 何か趣味を見つけてほしいと強く娘に進められて入会した、一人暮らしをしている女性。

き一さん 山登りが趣味。教室では頼りにされています。

♡さん 昔、お兄さんが吹いていたのを思い出して始めた女性。

ハーモニカを楽しみたい人たちの集まりです。少しも上手にはなりませんが、自分らしい音楽探しのお手伝いをしていると考え、私の励ましにもなっています。

★そして、日本語教室

私のもう一つの演奏の場となっているのが、日本語教室です。今、外国人労働者と言われる人たちが、日本の労働者不足を補うために沢山やってきています。ボランティアで運営されている日本語教室が、あちこちにあります。ハーモニカ講師と同じくらい日本語教師を続けています。

自己紹介をする時や学習者のイベントなどの時、話に飽きたところでのハーモニカの演奏は、とっても効果的です。私の演奏に「感動した」

「ハーモニカっていい音ですね。伴奏もできるんですね」と言われると、身が縮む思いがします。ハーモニカ普及の伝道師の役割を少し果たしています。

註 (*)

新聞への投稿でハーモニカ祭りの宣伝

「ニさん」が「ハーモニカ祭りを見学して」のタイトルで神戸オルビスホールでの感動を K 新聞に投稿され、それが投書欄に掲載されました。ハーモニカ普及のためのこんな手段もあるというのは嬉しいですね！！

学び、楽しみ、仲間をつくる

関西ハーモニカ交流会（仮称）のお知らせ

日 時：2022年6月19日（日）10時～18時30分

場 所：新大阪ココプラザ ホールおよび数教室を一日使用

参加料金：¥3,000

募集人数：70名～120名

◎募集詳細およびプログラムは会報4月号に掲載します。

◎みんなが楽しめる「吹きまくりの場」を設けます。

◎先ずは、日程の確保をしましょう！

講師として永原恵三さん（お茶の水女子大学名誉教授・放送大学客員教授）ほか
関西の先生方多数をお招きします。

楽しく気楽に参加できます。吹きたい人も吹く勇気のない人も集まりましょう。

（補足説明）

従来の「合宿交流会」をコロナ時代においては如何に活性化するか？を追及している事業部活性化委員会の最初のイベントです。

2021年度第1回研修会報告 講師：吹上晴彦先生

佐藤秀廊作品より タンゴ「花嫁人形」

11月14日久しぶりに訪れた大阪。御堂筋の銀杏並木は黄葉し、秋晴れの空の元、2年ぶりに愛日会館で研修会が開催されました。

はじめに小林研修部長から、今年の連盟行事「西コン」「ハモ祭り」に続いて1回限りですが「研修会」を開催できしたこと、感染対策を充分にして机1つに一人と間隔をとった26名の参加者になったこと、講師の先生との距離も近くアットホームな感じで楽しんで下さいとの説明がありました。

講師の吹上晴彦先生は佐藤秀廊先生と親交が深く、折々に佐藤先生のご様子やこぼれ話も伺うことができました。研修は以下の流れですみました。

(1)曲と編曲ができた時代的背景

1924年、雑誌「令女界」に載せる詩が間に合わず（作詞西条八十、挿絵加藤まさをが担当）急きよ挿絵画家の蕗谷虹児^{ふきやこうじ}が詩と挿絵を担当し、後にヴァイオリニストの杉山長谷夫が曲を付けた。

タンゴ「花嫁人形」は画家であった佐藤先生の気に入っている曲でもあり、琴との二重奏とソロ演奏のレコードが2枚出されている。吹上先生はソロのレコードを佐藤先生から頂いたそうです。

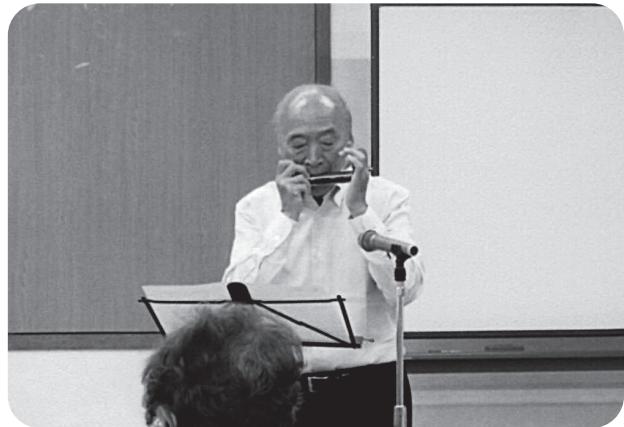
タンゴ「花嫁人形」は①日本の奏法の分散和音が入っていない、②佐藤先生得意のヴァイオリン奏法もほんの少々、③なぜかタンゴ調という特徴ゆえか演奏会で吹く人はまれなのだそうです。

受講者26名中、吹いたことがない人は殆どだと知り、予習もせずに参加した私は少し安堵しました。

(2)編曲楽譜の構成と各奏法

（佐藤秀廊独奏曲集第1集10ページに基づく）

まずは原譜（ト短調）をC、C#で吹く。



そして旋律が演奏できるようになってから奏法を練習する。

<練習法について>

楽譜のコメントにあるようにタンゴという言葉にとらわれずタンゴ風、タンゴ的に演奏すればよい。

前奏…オクターブベース（略してOB）から入る。OBはオクターブ（略してOC）に気を取られることなく歯切れよく吹く。

前奏の装飾譜（単音2音）はベースを強調するためにあるので、2音にこだわらなくてもよい。ベースをはっきり意識して吹く。そして前奏の終わりを意識する。 $\overbrace{3 \quad 6}$ でテンポを取り直す。

$\overbrace{3 \quad 6}$ は属音3（ミ）から主音6（ラ）に飛ぶパターンが随所に出てきている編曲となっている。この場合のベースは開放になってしまって構わない。

オクターブは全て同じ強さで吹くのではなく、弱音と強い音を使い分ける。

編曲をイメージしながら吹く。即ち3度、単音、大ベース、小ベースの動きをイメージすることである。

<ベース奏法について>

ベースは単音が出てから和音が鳴り単音に戻



る。そして大ベースは8度の和音、小ベースは5度の和音。

楽譜①…8小節2拍目～2か所の休止符を意識する。メロディは優美にしなやかさをもって奏でるのでベースはきつくしない。

楽譜②…16小節4拍目～はスラーの後にアクセント、小ベースから大ベースという指示を保つ。

28小節4拍目は開放でも舌をつけてもどちらでもよい。

楽譜③…32小節4拍目～子守唄は小ベースのみになっている。吸音のベースは5度と7度がある。演奏の指示がなく吹き手に任せている。子守唄なのでベースは強調させずレガートに吹くのがよいと思われる。そして大きなベースよりも3度のベースでもよい。やさしいベースながらもタンゴのリズムも保つように。

44小節目は軽く吹くためにあえてベース記号をはずしているのかもしれない。佐藤先生は楽しく軽やかに吹かれている。吹上先生は楽譜通り優しく吹いている、と。吹き手に任されてはいてもタイやスラーの表示は

守る。

楽譜④…48小節4拍目～オクターブ(OC)と単音の面白さを対比とし表現する。OCのアクセントは歯切れよくし、重たくならないように。

楽譜⑤…56小節5拍目～琴と2重奏のレコードにも入っている佐藤先生お気に入りのフレーズ

と思われる。スラーを強調するとタンゴ調でなくなるので、スタッカート風に吹く。華麗ではあるが重たくない。アクセントをしっかりきかないと吹きやすい。

後奏…64小節2拍目～ゆるめるそしてヴァイオリン奏法でさらに緩める。

休憩の後、楽譜の各部分を一人ずつ数名が前に出て丁寧な指導を受けました。佐藤先生はどういう風につなげるかを考えて描いておられる。より表情豊かに演奏するには数字譜が絵になるようなイメージをもつことが大事です、と。

そして吹上先生によるタンゴ「花嫁人形」の演奏を聴き、より理解が深まったところで、最後に全員で演奏をして貴重な講習会を終えました。

研修後、馴染み薄い「花嫁人形」を身近に感じ、詩の「なぜ泣くのだろう」が気になりました。蕗谷虹児は父が20歳、母が15歳の時に生まれた。若い駆け落ち夫婦の生活は貧しく母エツは28歳で他界。美しくはない花嫁人形の中に母への強い思慕の情が秘められているのは周知のことだったようです。また戦争で失った婚約者に花嫁人形は捧げられ、花嫁御寮は新しい人と歩むべく密かに涙をこぼすという時代の中、なぜか童謡で大ヒットしたそうです。メロディの美しさと悲しみを含めて吹けるようにと研修会に参加して思いました。(角野まゆみ)



2022年度 研修会のご案内

研修部長 小林由美子

2022年度も下記の内容で研修会を実施いたしますので、奮ってご参加ください。

会 場：愛日会館

大阪市中央区本町4-7-11

電話 06-6264-4100

研修時間：14:00～16:30（毎回）

参 加 費：会場にてお支払い下さい。

会員 1,500円、非会員 2,500円

人 数：50名（先着順、予約が必要です）

申 込 先：西本豪介 FAX 06-6785-7775

第1回

＜日 程＞ 5月15日（日）

＜講 師＞ 徳永延生、徳永有生

＜内 容＞ テーマ：

- 1、クロマチックハーモニカの魅力
- 2、デュオの魅力
- 3、バスクロマチックの魅力

今回はクロマチックハーモニカの演奏を聴いていただきながらその色々な奏法、テクニックをご紹介します。

いかに曲を歌うように、語るように、泣くように演奏するかの裏ワザを余すことなくご紹介！実際に体験していただきます。

音と音を歌うように紡いでいくベンド奏法、人間の歌声のような徳永式立体複合ビブラート、女性のため息のようなセクシーサウンドを奏でるサブトーン奏法、強烈なインパクトのグロー奏法、フラッター奏法、アコーディオンのような幅のある音を出すオクターブ奏法、クロマチックハーモニカでしか成しえないスライドグリッサンド奏法等々。

次にクロマチックハーモニカのデュオの魅力を実際の演奏をしながら解説していきます。アカペラの演奏、カラオケを使ってのジャズやオリジナルソング等を聴いていただきます。徳永延生と徳永有生の息の合った演奏をお楽しみく

ださい。最近 SUZUKI 楽器から発売されたバスクロマチックハーモニカ S-48 B のご紹介と実際の演奏を行い、その超低音域の凄さと今までのバスハーモニカでは成しえなかつ滑らかなフレージングの魅力をご紹介します。そしてバスクロマチックハーモニカと64クロマチックハーモニカでのジャズライブをお楽しみください。

＜持参していただくハーモニカ＞

クロマチックハーモニカ、お持ちでない方

は複音ハーモニカ C、C♯

＜徳永延生 プロフィール＞

1995年国際ハーモニカフェスティバル in 横浜でJAZZのガラコンサート日本代表。リー・オスカーやピート・ピダーソン、クロード・ガーデンと競演。各地でハーモニカ教室を開き、後進の指導に力を注ぐ。生徒の中から日本チャンピオンや世界大会のチャンピオンを多数輩出。インターネットレッスン、全国各地で出張レッスンなども行い、クロマチックハーモニカの普及に力を入れている。2005年韓国でCDを発売。韓国EBS放送でのスタジオコンサートを行い、大きな反響を得ている。独自の音色・奏法を研究・考案し、超絶なテクニックを駆使した個性的でダイナミックかつ繊細なサウンドは「Tokunaga Sound」としてすでに確立されている。レパートリーは童謡からセミクラシック・ボサノバ・スタンダードジャズと幅広く、オリジナル曲も多数。

＜徳永有生 プロフィール＞

1990年生まれ。父は世界的クロマチックハーモニカ奏者の徳永延生。音楽や楽器を一切未経験であったが、2014年にIT企業を退職し、クロマチックハーモニカを学び始める。2015年より全国ライブ・コンサート等の演奏活動を開始、2016年6月には「F.I.H. ハーモニカコンテ

スト」にゲスト演奏者として出演。“Tokunaga Sound”を継承するドラマチックな音色は各方面で、大きな衝撃を与え続けている。

第2回

＜日程＞ 7月10日（日）

＜講師＞ 水野隆元（複音ハーモニカ奏者）

＜内容＞ 次号でお知らせします。

第3回 は11月後半に予定しています。

- * 前回申し込んだ方も新たに申し込み下さい。
- * 定員を超えた場合は、参加をお断りしますので早めに申し込み願います。
- * キャンセルされる場合は早目に連絡ください。当日のキャンセルについては、会費を頂戴しますのでご了承ください。
- * 申し込みは、下の申込書で複数回の参加申し込みが可能です。

申込先 西本豪介 FAX 06-6875-7775

関西ハーモニカ連盟 研修会申込書(個人)

(会員番号)

(氏名)

(連絡先電話)

()

—

ご希望の回を○で囲んでください。(一度に複数回申込み可能です)

(第1回 第2回) 研修会に参加する。

関西ハーモニカ連盟 研修会申込書(団体)

(団体番号)

(教室：サークル名)

(代表者名)

(連絡先電話)

()

—

ご希望の回を○で囲んでください。(一度に複数回申込み可能です)

(第1回 第2回) 研修会に参加する。

(団体会員氏名欄) 参加者計 人



ハーモニカ カレンダー

2021年11月28日現在 関西ハーモニカ連盟 編集局

日 時	演奏会及び演奏者名(敬称は略)	会場・お問い合わせ先
1月 9日(日) 13:30 開演	H企画主催 ハーモニカジョイント・リサイタル 出演 梁木進・高阪他美子・小野浩子	新大阪ココプラザ 1,500円 エクスプレス・ココホール 【問】梁木進 090-8655-6045
1月 15日(土) 10:00 ~	徳永教室主催 徳永教室発表会	武庫之荘 ライブスポットアロー 【問】徳永 06-6934-7266
1月 16日(日) 11:00 開演	全日本ハーモニカ連盟主催 第1回 全日本ハーモニカ演懐コンクール 決勝ライブ	新大阪ココプラザ エクスプレス・ココホール 【問】梁木進 FAX 072-286-4890
1月 20日(木) 19:00 開演	アトリエブリランテ主催 クロマティックハーモニカの玉手箱 錦織のり子・園友栄 賛助出演:和谷泰扶	京都府立文化会館 有料 【問】アトリエブリランテ 050-5242-7907(錦織のり子)
1月 23日(日) 12:30 ~	H企画主催 梁木進 複音ハーモニカ公開講座 誰でも当日参加できます	新大阪 ココプラザ 1,000円 【問】梁木進 090-8655-6045
2月 6日(日) 13:00 ~	H企画主催 ハーモニカ吹きまくり(ハーモニカ小劇場) 誰でも当日参加できます	大阪市北区 ふんふんさろん 1,000円 【問】梁木進 090-8655-6045
2月 11日(金祝) 15:00 ~	関西ハーモニカ連盟 定時総会 (P3 参照)	大阪市西区 徐園
2月 18日(金) 19:00 開演	アトリエブリランテ主催 Co-starring ~クロマティックハーモニカと~ 錦織のり子・園友栄 その他	ロームシアター京都 <ノースホール> 有料 【問】アトリエブリランテ 050-5242-7907(錦織のり子)
3月 5日(土) 10:00	梅田教室主催 第13回梅田ハーモニカ教室演奏発表会	京都府宇治市 宇治市文化センター小 ホール 入場無料 【問】梅田恒弘 090-5055-7237
4月 24日(日)	全日本ハーモニカ連盟フォーラム	東京
4月 25日(月)	日本ハーモニカ芸術協会総会 春のハーモニカ祭り	東京
5月 15日(日) 14:00 ~ 16:30	第1回 連盟研修会 講師 徳永延生、有生 (P18 参照)	大阪市中央区 愛日会館 有料 【問】研修部 西本豪介 06-6785-7775
6月 19日(日)	連盟事業部活性化委員会主催 関西ハーモニカ交流会(仮称) (P15 参照)	新大阪ココプラザ 有料 【問】事業部 小川未佐子 078-583-5545
10月 15日・ 16日(土・日)	関西ハーモニカ祭り	堺市 フェニーチェ堺

(注) 新型コロナウイルス感染対策のため入場制限や、延期や中止になる場合があります、主催者に確認してください。

関西ハーモニカ連盟ホームページもご覧ください <http://ks-hamoni.sakura.ne.jp>

吹上晴彦理事長 古稀記念リサイタル

アンサンブル・ハモニ館 富久鉄男



令和3年9月30日（木）に兵庫県西宮市、夙川公民館・松下ホールにて吹上晴彦理事長の「古稀記念リサイタル」がハモニ館主催にて開催されました。

吹上理事長は、9月20日にちょうど70歳を迎えるされました。ますますお元気で、関西ハーモニカ連盟の種々業務、各地での演奏会出演、各教室・カルチャーセンターでの指導、など日々精力的に活躍されています。二年越しのコロナ禍時でしたが、主催のハモニ館ではどうしてもとの、強い思いがあり、感染状況もやや下火となったこの時期に記念リサイタルを開催する運びとなりました。会場では充分な対策を施して、入場者数も半減してのリサイタルとなりました。当日は天気も良く、関西各地での指導者の先生方も多数駆け付けられました。

演奏は「十五夜お月さん」から始まり、「荒城の月幻想的変奏曲」「チャルダッシュ」など得意な曲を次々と奏され、その見事な演奏に

会場の観客は酔いしれました。

途中、幼少の頃よりハーモニカと共に修業されたという詩吟の披露、また今回のために秘密裡に特訓したというピアノ

演奏（小林希久子さんとの連弾）など特別な企画も盛り込んだ演出となり会場も沸きました。

後半はいつもコンビで活躍されている小林由美子先生とのデュオ、さらに小林希久子さんも加わってのトリオなどに魅了されました。

横浜から来阪された水野隆元さんの特別演奏、富田美香さんのピアノ演奏が花を添え、3時間ほどがあっという間に過ぎました。最後には、ハーモニカへの想いを込めた挨拶をされました。また、教室で指導を受けている生徒からの感謝の記念品贈答があり、リサイタルは和やかに締めくくることが出来ました。これからも体には十分留意され、連盟、ハーモニカ界発展のためご尽力をお願いいたします。



国民文化祭・みやざき【ハーモニカフェスティバル 2020】

宮崎ハーモニカ愛好会 作田嘉余子



2021年10月16日（土）、宮崎市民プラザのオルブライトホールにて昨年から今年に延期となった第35回国民文化祭・みやざき2020【ハーモニカフェスティバル 2020】が開催されました。第1部は全国ハーモニカ愛好者との交流演奏会～第7回宮崎ハーモニカ愛好会演奏会～（10時開演、入場無料）、第2部は日本を代表する演奏家達による演奏会（15時開演、有料）でした。

新型コロナ感染拡大後の久々のコンサートとあって、皆さんに喜んで参加していただけました。第1部は全国（関東・関西・中国地方・九州管内・地元宮崎）から、観客・出演者とともに遠路多数お越しください、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

ソロ・アンサンブル合わせて37組の参加、複音ハーモニカに加えて普段宮崎ではありません聴けないクロマチックハーモニカの音色も響きました。曲目も、抒情曲・歌謡曲・外国民謡・演歌・クラシック・ラテン音楽などバラエティに富んでおり、音楽が多彩ないろいろとなりました。

国民文化祭ならではとハーモニカ界以外の方々のご来場も多く、初めてこのようなハーモ

ニカ演奏を聴いて感動、感激した、来てよかったですとのお声が聞かれました。ハーモニカ音楽を全国の多くの皆さんに楽しんでいただけたことを心から嬉しく思っています。そして、これを機会にハーモニカの更なる普及と発展につながるよう努めてまいりたいと思います。

【追記】このイベントは、第35回国民文化祭・みやざき2020の分野別フェスティバル事業を実施したもので、関連するハーモニカ団体の会報「ハーモニカラиф、風のうた、口琴藝術、Harmony」に同じ文章で投稿させていただいております。



以上は宮崎県在住で当連盟会員の作田嘉余子さんからの報告でした。

以下の写真は当日フェスティバルに参加された村上博昭当連盟常任顧問の提供によるものです。



お待たせしました、いよいよです！

第1回 全日本ハーモニカ演懐コンクール 2022 本選ライブ

主 催：全日本ハーモニカ連盟

日 時：2022年1月16日（日）

開場 10：10 開演 10：30

場 所：新大阪ココプラザ エクスプレスホール

入場料金：1,500円（当日券 1,800円）

チケット購入希望者は下記へお申し込み下さい。残り僅かです。

梁木 進（ハリキススム）

ファックス：072-286-4890

携帯ショートメール：090-8655-6045

◎住所、氏名、必要枚数をお知らせください。郵送します。



この度、日本
ハーモニカ芸術協
会より「長老栄誉賞」
をいただきました。

子供のころからはにかみ屋だった私は、晴れ
がましいことには臆病で、この慶事をハーモニ
カ仲間には黙っていたのですが、「Harmony」
でこのことを知った神戸マリンハーモニーのみ
んなから祝ってもらい、とても楽しい記念写真
を作ってくれました。

同じようなことは続くものらしく、加古川刑
務所の唱歌クラブでハーモニカを伴奏に歌の指
導をするボランティアをしていたことに対し、
2020年7月に加古川刑務所長から、2021年7
月には大阪矯正管区長から感謝状をいただきました。

現在私は神戸を基盤にハーモニカの活動をし
ていますが、その前は加古川の神戸新聞カル
チャーセンター加古川教室でハーモニカを習っ
ていました。

この時一緒にいた仲間と3人でグループを作
り、「一級河川」と名乗って、加古川市内の高
齢者施設でボランティアしていましたが、そこ
で刑務所職員のOBの方と知り合い、紹介して
いただいたのが、刑務所で活動するようになっ
たきっかけです。

高校時代、クラブ活動でシングルクロマチック
を使ったハーモニカバンドを経験したあと、
社会にて金に余裕が出たときに手に入れた憧
れのクロマチックハーモニカを我流で吹く程度
で、50年間ハーモニカの活動とは無縁でした。
たまたま高校のハーモニカの先輩であった故川

「無題」

佐藤 長

畠寿一先生の指導される「KCC 加古川」の「複
音ハーモニカ教室」を知り、入会したことが、
現在のハーモニカ生活につながります。

昭和20年代の小学校で3ヶ月ほど吹いていた
で、複音ハーモニカはまったくの初心者でした
が、数字を使ったハーモニカの楽譜が読めた
こと、学生時代にコーラスを経験したおかげで、
声に出して音符を読むとメロディーが歌えると
いう特技?があったこと、とにかく歌が好きで、
教材で出てくる大抵の曲を知っていたことが、
入会した時いたメンバーの中では最も早く進歩
した理由だったでしょうか。

教室の練習以外に練習の場を持とうと3人で
集まって練習を始めたのが「一級河川」の始
まりです。

3人で高齢者施設を回り、自己紹介で3人の
平均年齢は73歳です、というと皆さんすぐ
に仲間に入れてくださり、懐かしい歌で一つに
なるのはうれしいことでした。平均年齢は年々
あがり、最後、活動休止するときは81歳になっ
ていました。

刑務所は77歳ぐらいからです。年齢差に戸
惑いました。童謡唱歌でも「知らない」と言わ
れることもありましたが、歌が好きだという共
通基盤のおかげでだんだん理解しあえるよう
になり、楽しみにしてもらえるようになりました。

刑務所というところは、罪を犯した人が、刑
期が終わるまで閉じ込められるところだとばかり
思っていましたが、罪を反省し心を入れ替え、
健全な人間として社会復帰することを支援する
場所もあるということを知りました。

3人で練習を始める相談をしていたころ、川
畠先生から神戸へ来ないかという話がありまし

た。村上浩一先生のもとで練習できること、神戸マリンハーモニーに参加できることの魅力に勝てず、「N H K 神戸」に移り、現在に至ります。ハーモニカは歌うものだと私は思っています。何よりもメロディーを大切にすること、メロディーが耳に届かないテクニックはテクニックではない、合奏は合奏ではないと言っています。ベースが入れられなくても、きれいなメロディーが聞こえれば人は喜んでくれる、三穴奏法やハンドカバー、マンドリン奏法やバイオリン奏法などを組み合わせれば人が納得してくれ

る曲に仕上がる、とベースに悩んでいる人には言います。自分でできることでメロディーを最高に生かすことがハーモニカの醍醐味だろうと思います。

そういうながら、アンサンブルでは第2メロディー、バス、コードの方をしたいと思うのは生まれついてのにはにかみ屋のせいかも知れません。

加古川市老人クラブ
連合会『広報加古川
老連』より

市老連の演芸会にも鳩里地区から
出演した「ハーモニカ同好会 一級河川」は私を含め3人のグループで、主に市の高齢者施設で、ハーモニカを伴奏に歌つていただく活動を10年近く続けています。その中に加古川刑務所で、受刑者の精神安定と出所に向けて生活上の希望を育成する目的で行なわれている活動の一つ、「唱歌クラブ」での歌唱指導があります。

平成28年から約4年、平均年齢80歳に近い私たちから見れば随分若い受刑者の方と歌つてきました。世代

加古川刑務所から
感謝状

鳩里地区 佐藤 長

ところが、昨年暮れごろから、足腰が痛い、目が見えにくくなつたといった高齢に伴う不具合が出てくるようになり、1月には一人欠け、3月には一代わりのメンバーが見つかるまでに、今回のコロナ騒ぎです。年度最後の予定日から活動中止ということになりました。4月以降、どういう計画になるのか不安に感じていたところになりました。7月のある日、刑務所の担当課の人から電話がありました。

「一級河川さんに感謝状を贈りたいと思っています。日はまだ調整中ですが、またお知らせします。」
7月22日、加古川刑務所の一室で

所長さんからメンバー一人ひとりに感謝状をいただきました。所内での移動が辛いからと欠席した腰の悪い一人には、感謝状だけお預かりして後日、個人に届けました。我々の他にもう一人受けられた方がありましたから、年度行事として、コロナ危機のなか、あえて挙行してくださったものでしょ。大変恐縮し、感激しました。嬉しいことに目の調子が悪くてやめたいといつていったメンバーは、手術後の調子が良くなってきたのでまたやれそうだと言っています。コロナ騒ぎが峠を越えて、活動が再開できるのが楽しみです。クラブ活動の再開はまだ当分不明ですが。



▲ 加古川刑務所から贈られた感謝状

ハーモニカをポケットに⑦、佐多岬～熊本 550km の旅

木原 淳

ハーモニカをポケットに走ったり歩いたりの旅、今回はコロナ自粛で旅に出かけられなかつたので、記事にしてない過去の旅を書いてみます。2016年の2月、佐多岬から熊本の三角まで、17日間550kmの旅をしました。いつものよう にハーモニカが多くの出会いを作ってくれましたので、その一部を紹介させていただきます。



今回のコース略図

1. 桜島埋没鳥居

以前の旅は佐多岬に到達し1日走って根占に戻ったところで終了した。今回はその根占をスタートし、鹿児島湾越しに開聞岳を眺めながら北上する。途中カンパチ養殖生簀の並ぶ垂水を過ぎて桜島の入口に到着。桜島を反時計回りに走りはじめて、すぐに埋没鳥居がある。1914年(大正3年)の大噴火で鳥居が埋まってしまった



図1：埋没鳥居で出会ったファミリー

たそうだ。上部を残すだけで、当時の噴火の脅威を生きしく示している。ここに中学生を含むファミリーがいて、中学生の娘の友達が川内から遊びにきたので、案内をしているとのことだ。話しているうちにハーモニカを吹くことになり、ほかに観光客もいないのをいいことにしばらく楽しい時間を過ごした。この出会いは、ここだけで終わらなかった。桜島の北側をほぼ半周して宿のある桜島港の近くのことである。私が道端でサギのコロニー（営巣地）を見ていると、後ろから呼ぶ声がする。振り向くと、車を降りて婦人が手を振っている。埋没鳥居で出会ったファミリーのお母さんだとすぐに分かった。実家の手伝いをして帰るところのこと。よく会えたなとお互い再会を喜び、別れ際には実家でとってきたというポンカンを頂いた。

2. 黒酢工場

桜島を一周して、白い袋のかかった枇杷の木が目立つ町を過ぎると黒酢の福山町である。甕が沢山さん並んでいる工場があり、見学した。小さな柄杓を手にした社員の方に案内頂き、甕の中の1年物、3年物を試飲させて頂いた。見学後、事務室で倉庫の人も集まつたなかで、ハーモニカ演奏をした。



図2：黒酢の甕

3. 開聞岳の出会い

国分、鹿児島、指宿と湾を一周した。そして開聞岳の5合目で、二人の同年配の男性に出会った。その後、JR開聞駅で再び出会った。言葉に少し違和感があるので訊くとバンクーバーから来たとのこと。日本の学校を出てすぐカナダに行き50年間住んでいるという。私も在職中アメリカに6年半出向していたので話が合う。汽車を待つ間に何か日本の曲を吹こうと言うと、美空ひばりがいいと言うので、「港町13番地」、「悲しい酒」を吹く。汽車に乗り、二人は鹿児島までの予定だったが、車中の話が弾み、私の下車する指宿で降り、3人で砂湯を楽しんだ。



図3：開聞駅でカナダ人と

4. 耳取峠

枕崎から西の坊津に向かう途中「耳取峠」がある。この峠の名前が気になっていた。枕崎市街のはずれの道端で清掃している男性に尋ねた。「耳取峠まではまだ遠いですか?」「歩きでは30分はかかりますよ」とやり取りして、「耳取峠とは珍しい名前ですね」と言うと、その男性は、耳取峠について実に詳しく、丁寧に説明してくれたのである。お礼にハーモニカ演奏をと言うと、私を建物の中に連れていった。そこはJAの売り場であった。その男性が声をかけると開店準備で忙しくしていた人が数名集まってきたのである。ミニコンサートになった。演奏後、果物を箱ごと持て行けと差し出されたが、キンカン、ポンカンを少しだけいただき、



図4：JA 南さつま栗野事業所の皆さんと

耳取峠で食べた。枕崎の町と開聞岳が望める絶景のこんな場所で罪人の耳を取ったとは意外だ。

5. 天草の出会い

天草下島の西海岸を歩いていた時のことである。道を横断した人が私を見ている。近づいてその人に「こんにちは! どうしたのですか」と声をかける。「ここの道を歩いているなんてどうしたのかと思って」と、私が何者かと待っていたのだ。かなり長い間雑談をした。もっぱら苦情の聴き役だ。別れ際に「五木の子守唄」を吹いたが、目が潤んでいた。ポツンと1軒家で老父の看病をしていれば、何かと苦労があるだろう。

今回の旅は、人家の少ない場所が多かった。道を歩く人はとても少ない。それでも数少ない出会いだからこそ、ハーモニカが結び付けてくれる縁は有難い。ハーモニカに感謝。



図5：天草の下島で

ハーモニカ吹きまくり（ハーモニカ小劇場）に参加して

井上孝子



2021年10月24日（日曜日）、ふんふんさろんにて、参加人数17名、午後1時から5時までの間開催されました。この「吹きまくり」は別のハーモニカ教室で学んでおられたり、自力だけで吹かれる方など、誰でも気軽に参加できるところが魅力です。（大阪府下・兵庫・奈良・京都・滋賀）

前に出て吹く…体験もでき、自信にもなります。時間内で三回りてきて、各自3曲吹くことができました。

私、個人的な印象としては、参加者の演奏レベルが高く、3曲中の2曲は“その人となり”的魅力が伝わり、心に響くものがありました。皆さん、こつこつと努力なさった賜物だと思いました。

私は、今回の「吹きまくり」に参加したのは

約4年ぶりでした。忘れたころに参加したので、空白の4年間なのに感想を書くようにとのことで、とまどいました。

10年ほど前にココプラザで、梁木ハーモニカ公開レッスンで知り合った方々と“ハモ友”になり、今に続いております。長くお会いしていなかつた方々とも「吹きまくり」で再会し(私は大人しく、控えめなので)忘れられてるかも?と心配でしたが、まして、おばあさん・おじいさんに姿を変えての年月!! でもナント、おばさん・おじさんのままでした。感激!

中高年になってからの“ハモ友”に会える時を大事にしたいです。

☆ ☆ ☆

この「吹きまくり」は3か月毎にふんふんさろん（大阪市北区松が枝町）で開催しています。ここはPA設備もあり、人前に出てマイクに向かって吹く体験ができます。所属教室にかかわらず、広く誰でも気軽に自由に参加して演奏したり他人の演奏を聴いたりして、みなさんにハーモニカを楽しんでもらうことを目的に開催しています。次回は2022年2月6日の予定です。

（梁木 進）



コロナ禍のハーモニカコンサート

奈良ハーモニカ仲間の集い代表 青木鈴子



本来は、朝ドラ「エール」に関わられた愛川ハーモニカアンサンブルをお迎えして美しい音色を多くのハーモニカ仲間とともに楽しむという企画でした。

2020年7月、2021年6月、2021年11月と延期して様子を見続けましたが、この8月の急激な増加に断念しました。神奈川から16名をお呼びすることに不安を感じました。観客のみなさんの安全も考えました。

急遽、秋篠音楽堂を奈良のハーモニカ仲間でのコンサートをと再企画。コロナ禍で不安な日々を送る仲間にこの舞台に立ってもらって気持ちを奮い立たせていただこう。ハーモニカの纖細で哀愁ある音色をみんなで楽しみたいと参加を呼びかけました。二ヶ月前の急なお願いに困られたでしょうね。切羽詰まった私の願いを察してか、奈良の仲間が秋篠へ集結。演奏50名、見学51名、計101名のハーモニカ関係者ののみのコンサートでプログラムは①午前②ゲス

ト③午後と3本立て5時間のコンサートとしました。

11月に入って感染者数がかなり減っていたとはいっても感染予防に気をつかいました。マスク、検温、手指の消毒、座席間隔等、10月の神戸での関西ハーモニカ祭りを参考にしました。但し、アンサンブルは6名までとしました。この時期練習場所もなく大変だったにもかかわらず、リズムよく音の重なりを大切に演奏されました。独奏は相当吹き込んで来られたのか情感たっぷりで丁寧な仕上がりに。秋篠音楽堂に美しいハーモニカの音色が響き渡りました。

ゲストの村上博昭・岩本洋之・高山美千代各先生そしてポコ・ア・ポコ。サプライズに神戸からこぴっとT & Kの高阪他美子先生と角野まゆみさん。流石のお手本の演奏に大きな拍手が。さらに特別ゲストの鍵盤ハーモニカ奏者の常田陽子先生の巧みな両手吹きの演奏に会場のみなが魅了されました。時には纖細にそしてダイナミックに繰り出される鍵盤ハーモニカに目も耳も釘付けになりました。コロナ禍のコンサート。奈良のハーモニカ仲間の心がひとつになり、みんなが元気になられたように思いました。



関西ハーモニカ連盟九州旅行の思い出 ～「うなぎ」とハーモニカ～

吉村 則次



1991/5/26 福岡にて 右から3人目 大石昌美氏
左端 仲村眞 右端 吉村則次

Harmony 前号2021年10月号17ページに、寺村安雄さんが、大石昌美さんの追悼文を載せられていきましたが、そのうちの30年前の1991年5月25~27日の、大石昌美さんほか九州のかたと我々の合同演奏会を含む九州旅行は、次のとおりであった。

1991年5月25日夕方 大阪南港からフェリーで出発

フェリーの一室を借りて練習したが、揺れのため、ままならず。

5月26日朝 門司港着 バスで柳川等を観

光 北原白秋記念館、古賀政男記念館等訪問。

柳川では観光の舟に乗った。同地での「うなぎ」の昼食は、私の一生で一番おいしい「うなぎ」であった。ごはんの真ん中にも「うなぎ」が入っていた。

福岡市では、大石昌美さんほか九州ハーモニカ連盟のかたの出迎えを受けた。

「福岡山の上ホテル」に宿泊。全室から海が見えるといううたい文句だったが、ビルの間から少ししか見えない部屋もあり、話が違うと文句が出た。

夜、懇親会と演奏会後、大石昌美さんの呼びかけで、カラオケがありハーモニカも吹けるという、同氏馴染みの飲み屋に、山からタクシーで下りて、連れて行ってもらったが、先客があり、ハーモニカは吹けずじまい。

5月27日 ホテル内の宴会場で「関西・九州ハーモニカ合同演奏会」を開催。

ソロに加え、関西ハーモニカポップスの大合奏、小編成の合奏等を行った。

旅行参加者は、森本恵夫さん、酒井涼爾さん、白鳥達夫さん、吉森正隆さん、織田太郎さん、



1991/5/27 関西・九州ハーモニカ合同演奏会
関西ハーモニカ・ポップスの演奏
福岡市「山の上ホテル」にて



1991/5/27 関西・九州ハーモニカ合同演奏会にて
左から 森本恵夫 吉村則次 吉森正隆 酒井涼爾

山村信彦さん、飛田保雄さん、前田長男さん、屋嘉比盛行さん、上野忠彦さん、今井康郎さん、上本洋さん、以上は全部故人、それに仲村眞さん、村上浩一さん、松川義明さん、宇佐美進さん、楠陽児さん、光野利一郎さん、寺村安雄さん、

ピアノの植田理子さん等（抜けていたら失礼）、さらにこれに加え、参加者の奥様方を含め大型バス1台分であった。

帰りは、自由解散し各自新幹線で帰阪した。
当時の写真を見ると涙が出てきます。



1991/5/26 福岡 古賀政男先生の像前にて
吉村則次 松川義明



白秋の里 柳川 1991

行って、見て、聞いて Vol.18 名曲喫茶

岩本洋之

甲賀先生は「作曲家になるには名曲を浴びるほど聞くこと」と教えられたと、そして不自由な学生時代には当時流行した「名曲喫茶」に通い続けたと書いておられました。そんな時にフォーレのレクイエムに感動し震えが止まらなかったとも。

同じく作曲家のすぎやまこういち先生は「オーケストラは音楽の一番のごちそう」と言っておられます、ゲーム音楽「ドラゴンクエスト3『そして伝説へ』」を作曲される時に「聞き減りしないクラシックのような曲」を作ろうと思われたそうです。それこそが世界中で長く愛されている理由なのですね。

私達は、演奏上達の心得として色々な本を読んだり講演を聞いたりします。でもなかなか上達しないので、とにかく名曲を

いっぱい聴いて聴いて、好きになって、身近に感じ続けることが重要なのでしょう。

「身近に」と言えば、メールアドレスにモーツアルトの曲やバッハの曲を使っている人を見かけます。「ああ、好きなんだな！」と一目で分かります。そういう私は「bohemian」を入れたパスワードを使っています。もちろんQueenのラプソディです。

名曲喫茶について余談ですが、私は23歳から27歳まで東京勤務でした。東海道線や中央線沿線を一日回る時は、駅前でクラシックレコードを揃えている純喫茶を探しておいて頭と身体を休めていました。都内では「ルネッサンス」、「でんえん」、「ライオン」、「ヴィオロン」などの名曲喫茶が有ったようです。

カラオケの聴き方

クロマティック・ハーモニカ奏者 北村サユリ

例年、発表会はプロのミュージシャン（キーボード、ベース、ドラムス）がサポートしてくれていたのですが、普段カラオケでの練習に慣れておられる方は本番が生演奏になるということで少し不安に思っておられる方もいらっしゃいました。

よくお聞きするのは「生演奏はカラオケと雰囲気が違ってわからなくなつた」ということなのですが、その場合、普段のカラオケの聴き方に工夫が必要かもしれません。



まず、普段の練習のときからなるべく低音を聴くようにするとよいです。ドラムのキック（いちばん低い音で、たいていの場合、小節の1, 3拍目で鳴ります）やスネア（例外もあるかもしれませんが、小節の2, 4拍目で鳴ります）そして、ベースラインを聴く癖を付けます。練習の時だけでなく、好みの楽曲を聴くときもこの低音パートやその他いろんなパートに注目して聴いてみるとよいです。



それから、和音を聞きます。このとき、鳴っている和音の構成音やコードネームはわからなくてよいです（ピアノやギターなどを若い頃からされている方でないと難しいと思います、私も無理です）。代わりに、その和音の響きが

落ち着き系なのか盛り上がり系なのかを判断できるようになれるといいです。



盛り上がりというのは、その和音で終わるのが気持ち悪い感じです。学校でよくある「起立、気をつけ、礼」の「気をつけ」にあたる響きとざっくり考えていただいてよいと思います。そして、落ち着きは「礼」にあたります。



普段からこれらに着目してカラオケを聴き、いわゆる上モノと言われる「チャーン」などといった装飾的な音を目印にしないようにしてください。

低音が聞き取りにくく上モノばかり目立って聞こえてしまう場合は、前号の「少しでも良いリスニング環境で」を参考に、環境の見直しを検討してみてください。



私も、初心者の頃はリハーサルもなくいきなり生演奏で本番というのがとても苦手でしたが、今はジャムセッションで知らない人たちと打ち合わせなしで演奏しても見失ったりすることはほぼなくなりました。



よろしければ参考になさってください。



ドレミちゃん
©関西ハーモニカ連盟 2011

「自在流ハーモニカ」

ハーモニカを気楽に楽しみたい

もり・けん

私が今、朝日カルチャーセンター肥後橋(フェスティバルホール18階)、ヤマハ音楽教室(箕面駅構内)でさせてもらっているハーモニカ教室の名称は、自在流ハーモニカ講座と言います。

自在流とは「自分の思うように、気楽にハーモニカを吹く」ということを指しています。私のハーモニカ教室は、ハーモニカ技術講座ではありません。それをしておられる先生方はたくさんおられます。私の教室はハーモニカが好きなら一緒に吹いて楽しむことに重点を置いています。

月々の課題曲は、私が日本童謡協会の会員であることから、日本の童謡を、そして何でも自分の好きな曲を自由曲として選んで、月に二回教室に参加します。そこで演奏してもらって、私が、少しコメントし、アドバイスさせてもらっています。だから気楽に参加する人がほとんどです。ハーモニカ奏法を学び、演奏技術を身に着けて演奏技法をどんどん高めて、コンテストに出て賞を取る、そこに夢を見出すという生徒さんは、私の教室にはいません。自分の好きなように気楽にハーモニカを楽しみ、少しうまくなるヒントをもらいながら、自分の吹きたい曲を練習してくる。自分のしたいことに重点を置いた教室が私の教室です。

私のハーモニカ教室をこのように変えたの

は、父の考えとぶつかったからなのです。父のことを、ハーモニカの世界でご存じの方は多いと思います。私の本名は吉森正憲。父は故吉森正隆、元全日本ハーモニカ連盟理事、日本ハーモニカ芸術協会「佐秀会」師範でした。父は1991年(平成3年)に世界ハーモニカコンテストで、世界チャンピオンになりました。それからの父は私に「お前もハーモニカをきちんと練習して、わしの後を継がなあかん」という意気込みで私に迫って来了のです。

しかし、私は父にハーモニカをもらった時から、自由に気楽に吹きたいと思い続けてきました。私は本名、吉森を使わず、詩人としてのペンネーム「もり・けん」として気楽にハーモニカを楽しむ道を選んで活動してきました。これが、「自在流ハーモニカ」となり、もうかれこれ30年はやってきています。

ハーモニカを愛好する人が、気楽に楽しめるように、それぞれの人の吹き方や楽しみ方を大切にしながら、それぞれの人の技術でハーモニカを吹いてもらうことで、受講生はずっと楽しんでやっているのです。上手にはなりたいが、チャンピオンになりたいという人は一人もいません。日々楽しくハーモニカと付き合いたいと思っています。そのヒントや、きっかけを与えてあげるのが、私の役目かと思っています。



ほんわか かなさん メジャーデビューCD

『人と旅と笑顔、思い出アルバム』が11月17日に発売開始！

大阪府出身のハーモニカ奏者「ほんわか かな」さんが、メジャーデビューコードをリリースされました。

収録曲

- 1.「N・A・G・O・M・I」（オリジナル・インストゥルメンタル）ハーモニカ・ソロ
- 2.「Birthday」（『鶴瓶の家族に乾杯』テーマ曲）～「故郷」
ハーモニカと歌 / ハーモニカ・ソロ（無伴奏）
- 3.「SWEET MEMORIES」～「渡良瀬橋」
ハーモニカ・ソロ（無伴奏） / ハーモニカと歌
- 4.「Bad Day」～「明日があるさ」
ハーモニカ・ソロ（無伴奏） / ハーモニカ・ソロ
- 5.「北の国から」～「I LOVE YOU」
ハーモニカ・ソロ / ハーモニカ・ソロ（無伴奏）
- 6.「旅愁」～「JIN-仁-Main Title」～「逢いたくていま」
ハーモニカ・ソロ（無伴奏） / ハーモニカ・ソロ / ハーモニカ・ソロ（無伴奏）
- 7.「異邦人」～「魅せられて」
ハーモニカ・ソロ（無伴奏） / ハーモニカと歌
- 8.「人と旅と笑顔、思い出アルバム」（オリジナル・ソング）ハーモニカと歌



複音、クロマチック、テンホールズ、ペンドントと、様々なハーモニカの魅力、そして、かなさんの魅力がたくさん詰まった作品です。オリジナル曲から懐かしのカバー曲まで幅広い選曲でありながら、タイトルに込められた想いを感じることのできる珠玉の1枚です。

○ほんわか かな プロフィール

大阪府出身。母の影響でハーモニカをはじめ、"ハーモニカの鉄人" 斎藤寿孝前全日本ハーモニカ連盟理事に師事。ジャズ理論をジャズピアニスト寺井尚之氏に師事。クロマチックを中心に、複音、10ホールズ、ペンドントハーモニカの使用も含めたソロやアンサンブル演奏、歌唱、編曲や、コンサートをはじめ様々なイベントの司会、ハーモニカマガジンのインタビュアーほかマルチに活動中。

『人と旅と笑顔、思い出アルバム』（テイチクレコード）

税込定価：¥2,000

※ほんわか かな店（Base）にてお求めの際は、特典に「ほんわか かな卓上カレンダー（月替わり）写真16枚」をプレゼント中。

お買い求めは、下記URLまたは、QRコードを読み込んでください。

<https://hamonicakana.official.ec/>



会員異動のお知らせ 2021.11.15 日現在

組織部長 丸山茂生

当連盟では名簿を公開していますが、本人の申し出があれば個人情報（住所・電話番号等）を非公開に出来ることが、2004.7.12の常任理事会で決議されました。また、2014.8.28常任理事会で、会員異動のお知らせの住所表示は市区名までにすると決まりました。会報226号（2021年10月号）でお知らせ以降の会員異動は、次の通りです。

(個人退会)

(敬称略)

通番	会員番号	氏 名	理 由	受付日
1	454	松原 弘司	自己都合	2021.08.30
2	35	大矢 博文	自己都合	2021.10.16

(団体退会)

通番	団体番号	団 体 名	代表者	受付日
1	32	ハーモニカサロン御影	松原 弘司	2021.06.24

2021.11.15現在の個人・地域外個人・準・賛助・特別の合計会員数は223名、団体会員は426名(40団体)です。

お願い；個人会員の入会・退会、団体会員の入会、住所・住居表示・電話番号・市外局番等名簿記載事項の変更は必ず組織部へお知らせ下さい。

編集局より

寄稿のお願いと心得ておくべきこと

会報「Harmony」は会員からお寄せ頂く活動報告やご意見等の寄稿により支えられています。

(1) 「れんめいひろば」への寄稿のお願い

皆様からのハーモニカに関する色々な情報やご意見を頂戴しており、今後ともたくさんのご寄稿を賜りますようお願い致します。

(2) 新聞の記事の引用について

ご寄稿にあたって、新聞記事の引用をされる場合には、下記に留意して下さい。

記

① 新聞記事からの「引用」のような『二次使用』の場合は、新聞社の許可が必要であり、各社には申請方法と料金規定がある事を知っておかなければなりません。

料金規定をよく見ると、「^注申請者が取材を受けた記事は、無料になる場合があります。」と記載が有ります（神戸新聞の例）。

② 著作権法の我々の理解は意外とあいまいですが、「他人の著作物の一部を自己の著作物に引用することができますが、著作権法で規定される引用要件を満たさなければならない」を再確認しましょう。

詳細を知りたい時は、「新聞記事 引用（または二次使用）」で検索して下さい。

■コロナが落ち着いてきて県外へ出てハモ祭りや研修会へ行けるようになりました。それがこんなにも嬉しいことだとは思ってもいませんでした。普段の生活の喜びをコロナが教えてくれました。このまま落ち着いてくれることを願っています。(西尾好美)

■音楽はやはりみんなで集まって演奏し、語り合うことが大きな楽しみでもあります。そういう仲間を増やすためには、教室から飛び出して、上手でなくとも外でハーモニカを吹くことが大事だと思います。枚岡神社のお笑い神事の日には、もり・けん先生を中心にハーモニカを吹きます。そのような気持ちが人の輪になって行くと思っています。(参考:「枚岡神社 お笑い神事」で検索。もり・けん先生も出てきます。)(岩本洋之)

■編集局で会報を担当して6年、多くの方々に辛抱強く支えていただいて今号まで携わることができました。思えばどれも楽しくやりがいある作業で、私自身の人生終盤に豊かな彩りをいたしましたこと、感謝で一杯です。これからは手元にまっさらな「Harmony」が届くのが楽しみです。(竹内寿子)

■編集局 HP 担当退任にあたり=パソコンが使えるからと、HP の編集に関わりましたのは2006年3月ごろと記憶しています。ワープロライクな初心者用エディタのページビルダーを使い、カレンダーの更新など連盟 HP 編集をしてきました。パソコンでできることなら何なりと、間口が広がりプログラムや名簿の作成編集にも参加し、組織部の名簿編集をしながらもハモ祭り・西コンのプログラム編集などに加えて、2016年常任理事編集局 HP 広報担当を拝命して今日に至りました。

HP 編集に関わった当初は、サイトが canonet と Tok2Pro の2つのサーバー上で動いており、理解に苦しました。それでも掲示板があり会員の情報交換ができる進んだものでした。しかし1通のフェイクメールに掲示板が占拠され、アカウント停止とネットワーク社会の怖さを知りました。

した。

HP 編集に参加して15年の間、ネットワーク環境は記録ツールの IC レコーダ・デジカメ・スマートホンの高機能化で大きく変わりました。記録ツールの変遷に合わせて、伝達・発表ツールも多様化し、これらのハードウェアに相応しいソフトが求められる時代になりました。すなわち高速ネットワークとスマホ対応の HP 編集でした。15年前今日のスマホ隆盛を予見できず、連盟 HP は陳腐化を余儀なくされましたが、ここに HP 編集スキルを持った連盟会員の参加を得て、新春より HP のリニューアルが実現することとなりました。

長い間旧弊な HP にお付き合いくださいました会員の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、新生 HP にご期待とご支援を頂きますようお願いして、旧連盟 HP 編集担当の退任の挨拶いたします。長い間本当にありがとうございました。(渡辺晃志)

■連盟会報2018年10月号に、もり・けん同行「モンゴルのんびり滞在・ほっこり交流の旅」という記事を書かせていただきました。その時ゲラを見させていただいて、色々無理な修正をお願いしました。これに親切に対応して下さったのが T さんでした。一会员であった私はてっきり T さんは専任の事務の方だと思っていました。編集局に所属してまだ日が浅いですが、全会員の協力はもとより、各部局の方々の活動を垣間見させていただいて、当連盟の力強さの源泉の一端を知りました。今後は W さんのあとを引き継がせていただく予定ですが、連盟 HP 編集をとおして微力ながら当連盟の発展に役立ちたいと思います。T さん、W さん、長年ご苦労さまでした。引き続き、よろしくお願ひ致します。(筒井茂義)

■左上に岩本さんが枚岡神社の「お笑い神事」のことを書いています。毎年12月23日の年末行事です。来年は私と一緒にハーモニカを持参では非参加してください。右に少し詳しく解説しておきます。(もり・けん)

笑わざにはいられない「お笑い神事」



私が毎年12月23日朝に参加している神事の名称です。東大阪市にある枚岡神社で行われます。

近鉄奈良線の枚岡駅で下車すると、目の前に神社の鳥居が見えます。坂を上がっていくと、朝9時を過ぎた頃から階段前の広場にたくさん的人が集まっています。そこが「お笑い神事」の会場です。

この季節は寒くて、じっとしていません。私はハーモニカを持参して「お笑い神事」が始まるまで皆さんで歌をうたってもらうことにしました。童謡を中心に、大きな声で歌っているうちに体も温もってきます。皆さんが温もってきたころ、10時に太鼓が鳴り響きます。

その合図で参拝者全員が一斉に「20分間笑い続ける」のです。この行事は現在では数千人が参加する大きなお祭

りとなっています。

出店もあり、笑いに関するグッズも多く出され、この「お笑い神事」だけでなく「笑いを競うコンテスト」や「天岩戸神話に基づく儀式」「落語会」などが開催されます。

神事の一番の見どころは「20分の大笑い」。一人一人の「わっはっはー」という笑いがいろいろあることに気づくはずです。笑いの神事の笑いは儀式的な笑い、参加者のための大笑いです。実際に20分間笑ってみると、1分間大笑いするだけでも大変だということに気づくはずです。笑いは「百薬の長」とも言われ、大きな運動効果があり、健康にとてもよいものと言われています。みなさんも来年是非大笑いしてみてください！

是非、2022年は12月23日を覚えておいてご参加ください。（もり・けん）

次号
締切日

次号 第228号（2022年4月号）
原稿締切りは**2月15日(火)**、会報編集室必着でお願いいたします。
同封物締切りは**3月5日(土)** 発行は3月中下旬予定。

関西ハーモニカ連盟 会報 第227号 (2022年1月号)

発行人 吹上 晴彦
編集人 もり・けん
発行所 関西ハーモニカ連盟会報編集室
〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町6-12 西栄ビル2F
FAX 06-6353-1393
e-mail : harmonica@cardandmedia.co.jp
印刷・製本 株式会社カード&メディア





KANSAI Harmonica ASSOCIATION